

第100回宝生流能楽鑑賞会

日本伝統芸能

能楽鑑賞会

舞囃子

高砂

大坪喜美雄

狂言

鐘の音

能村 晶人

能

西王母

佐野 由於

令和8年4月26日(日) 13:30開演(13:00開場)

ハピリンホール能舞台 福井市にぎわい交流施設
(JR福井駅西口「ハピリン」3階 福井市中央1丁目2-1 TEL 0776-20-2901)

前受入場券 4,000円・当日入場券 5,000円(前受入場券をご希望の方は、事前の申込みが必要です。)
申込みは事務局 (TEL 0776-24-7851) に問合せいただくかホームページをご覧ください。

主催 宝生流福井能楽会 後援 福井市 福井新聞社

能組

演目解説

舞囃子

高砂

大坪喜美雄

大鼓 飯嶋六之佐
小鼓 住駒 俊介
太鼓 麦谷 曉夫
江野 泉

地謡 藪 島村 明宏
佐野 弘宜

狂言

鐘の音

シテ 能村 晶人

アド 炭 哲男

後見 炭 光太郎

休憩十分

能

西王母

ツレ 福岡 聡子
シテ 佐野 由於

ワキ 北島 公之

ワキツレ 渡貫 多聞
ワキツレ 平木 豊男

間 中尾 史生

大鼓 飯嶋六之佐
小鼓 住駒 俊介
大鼓 麦谷 曉夫
小鼓 江野 泉

後見 藪 克徳
佐野 弘宜

地謡 山岸 啓
谷 渡辺晃三郎
芦田 清士
嘉和 島村 明宏
松本 博

能 西王母 (せいおうぼ)

ところは中国、周の時代。穆王の治めるたいそうめでたい聖代を迎えて、君臣相和し、皆花の都に群れ来て参内し共に泰平を祝って大賑いです。そこへ、どこからとも知れず桃花の枝を肩にした若い女が現れます。そして三千年に一度花咲き実を結ぶ仙桃が今花咲いたのも君の御威徳によるものであるから献上しよう、と言って宮殿へ赴きます。

引見し、桃の謂れを聞いた帝王は、それは西王母の桃かと問います。女ははじめ答えませんが、やがて自分が西王母の化身であると明かし、後に真の姿で現れ仙桃の身をも捧げようと約束して天に上がります。

帝王が管弦を奏して西王母の天降るのを待っている、やがて侍女を従えた西王母が光輝く妙なる姿で現れ、仙桃の実を帝王に捧げ舞を舞います。喜びの酒宴に皆快く酔い、いっしか西王母は天上へと消えます。

(宝生の能より)

狂言 鐘の音 (かねのね)

成長した息子の元服に際し、黄金造りの刀を差させようと思った主人が、太郎冠者に、鎌倉へ行き「金(かね)の値(ね)」を聞いてこいと命ずる。太郎冠者はそれを「鐘の音(かね)」と勘違いして、鎌倉の寺々をめぐる歩き、鐘楼堂の鐘について音色を聞きくらべてくる。帰宅してその旨を主人に報告し、主人に叱責されるが、即興的に鎌倉の寺々を回った様子を謡い舞って取り結ぶ。

(能・狂言事典より)

※場内での撮影・録音・録画は固くお断り致します。

申込、公演案内

宝生流福井能楽会 事務局 天野和彦
福井市三郎丸2-908 TEL/FAX 0776-24-7851

【宝生流福井能楽会のホームページ】
<http://www.mitene.or.jp/~y-sato>

福井能楽会

検索



HP

会場案内図

